

河北会館だより NO.164(令和6年3月号)

【西条市河北会館】 住所:愛媛県西条市楠甲1295番地1 TEL・FAX:0898-66-2895

大切にしたい思いやりの心



Bさんとの出会い



今から10年位前、高校1年生の息子さんを連れてお母さんが西条市主催の障がい者PC教室を訪ねて来られました。「発達障がいがあり支援学校に通っているが、不登校で引きこもりがち、パソコンには興味があるようなので、この教室でお世話になりたい。」との事でした。障がい者PC教室はリーダーのA先生を中心に数名の障がい者の方が講師となり、月2回開催されていました。福祉センターや講師の皆様方の同意を得てBさんは障がい者PC教室の一員となりました。初めはゲーム依存の傾向もあるらしく、昼夜逆転の日が多いようで、あまり元気がありません。講義が始まるまで机にうつ伏せになり休んでいました。「始まったよ。」と声をかけると何とか、顔を上げて講義を聞きながらパソコンに向かう事ができました。ローマ字打ちは難なくこなし、理解も早く、少しのサポートで資料を作成する事が出来るようになりました。教室の仲間との交流は苦手で、休憩時は皆さんと一緒にお茶を飲んだり、話したりすることもなく、長椅子を見つけて横になっていました。しかし、PC教室は休むこともなく熱心に通って来ました。旧西条市居住でしたので毎回の送迎は大変だったと思いますがお母さんは近くのスーパー等で待ちながら、がんばってくれました。

高校3年生になる頃にはめきめきと腕を上げてきました。支援学校の勧めもあり、3年生の夏休みには愛媛県教育委員会主催『えひめ特別支援学校技能検定試験』を受けてみるようになりました。過去の模擬試験を参考にPC教室でサポートし、受験勉強に取り組みました。初めての受験で、本人も緊張したに違いありませんが、結果は見事ワード1級に合格、県庁まで校長先生と一緒に表彰式に参加しました。続いて冬休みはエクセルの技能検定試験にも挑戦し、合格しました。本人やお母さん、PC教室関係者にとっても、まるで、夢のような出来事でした。何よりも嬉しかったことは本人がこの経験を通して、自分に自信を持ったことでした。1回目はうつむいて恥ずかしそうだった表彰式の写真も2回目はしっかりと顔を上げ、見違えるような表情でした。卒業式には『向上賞』という立派な賞をいただいたこともその後の本人の歩みに拍車を掛けてくれました。

高校卒業後はB型事業所で働きながら彼の強い意志で、ずっとPC教室に通って来ました。彼はその頃にはもう、障がい者PCのサポートができるまでに力をつけ、障がい者相談支援センターの機関紙の編集にも携わるようになっていました。その間、週に一度は、さらにパソコンのスキルアップのためにパソコン専門の塾にも通い、日商PCの検定試験にも合格しました。

昨年度、福祉センターのお世話で彼のパソコン力を生かせる職場に就職しました。私たちは何よりも彼の就職を喜びましたが、教室で『頼りになる存在』になっていた彼との別れは我が子の旅立ちを見送るように寂しいものでした。ところが、今年1月23日「仕事の日を土曜日と振り替える事が出来たから」と、思いがけず、PC教室に参加してくれました。久しぶりに会った彼は体格もたくまし

くなり話も弾みます。「これからも時々は参加したい。」と言ってくれた彼・・・、もう25歳になったことも驚きでしたが、そんなことを考えられるようになったことにも心を打たれました。

Bさんという一人の少年の成長を通して、10年の歳月は私にいろいろな事を学ばせてくれました。発達障がいの子どもが社会に適応し将来自立して過ごせるようになるにはどうしたらいいのだろうか？まず、その子が安心して自分の力を伸ばせる居場所や環境、地域社会がいかに必要であるかを痛感させられました。PC教室は高齢者や障がいのある方10名程の小集団でしたが、互いの良さを認め合い支え合うとてもステキな教室でした。Bさんはこの仲間と過ごした日々の中でパソコン力だけでなく、コミュニケーション能力や人間としての在り方を少しずつ学ぶことができたように思います。PC教室の皆様には感謝の気持ちで一杯です。

お子様が発達障がいと診断され、悩んでいらっしゃる方もいることと思われまます。本当に大変だと思いますが、家庭での対応のポイントは『まず、成功体験を増やし、子どもの自信を育むこと』だといわれています。一人で抱え込まないで、家族や学校、医師や関係諸機関等とも連携をとりながら子どもさんのよき理解者やサポーターを一人でも多く見つけてあげてください。

PC教室一員



〈人権〉〈福祉〉〈健康〉〈生活〉〈職業〉〈教育〉等の相談事業を行っています。

お気軽にお電話・ご来館ください。☎0898-66-2895



教室案内

ハローワーク求人情報有ります
(ハローワーク西条から毎週木曜日に配布)

教室名	講師・責任者	学習日	時間	備考
手作りパン	佐藤 郷子	第2火曜日	9:30~12:30	満員です
グラウンドゴルフ	瀬尾 満高	毎週月曜日	8:30~11:00	生徒さん募集!
手作りCLUB	武田 絹子	毎週月曜日	13:30~15:00	生徒さん募集!
囲碁・将棋	武田 宗三	毎週木曜日	13:00~17:00	生徒さん募集!
詩 吟	森川むつ子	毎週木曜日	20:00~22:00	生徒さん募集!
識字(勉強会)	月岡 邦子	第2・第4月曜日	13:30~15:00	休講中
体 操	能智智富美	第2・第4水曜日	13:30~15:00	満員です
琴	杉山 慶子	第2・第4金曜日	10:00~11:30	満員です
硬 筆・書 道	千羽 易	第2・第4土曜日	9:00~12:00	生徒さん募集!
いきいき百歳体操	武田 京子	第1・第3金曜日	10:00~11:30	若干名募集!
いきいき百歳体操	武田 京子	第2・第4金曜日	13:30~15:00	若干名募集!

(都合により変更する場合があります。必ず教室責任者に確認してください。)

法律相談講座

日時:3月5日(火) 13:30~

場所:河北会館2階

内容:身近な法律相談「相続について」

講師:村上 和也 弁護士

ご参加ください



※相続登記の義務化が2024年4月1日から実施されます。

相続について、気になること・心配なことを聞いてみませんか!?

✿申し込みは不要です。お問い合わせは河北会館まで ☎66-2895

【防災訓練を開催しました】

12月20日(水)体操教室の生徒さんの参加で防災訓練を行いました。

「火事よ〜逃げて!!」の合図で始まりました。

階段は、ゆっくり滑らないようにスリッパも無して降りてもらいました。

外では、消火器の使い方です。

『消火器を使用する際の合言葉』

ピ ピンを抜く

ノ ノズルを持つ

キ 距離をとって

オ (レバー)を押す



『ピノキオ』これさえ覚えておけば消火器の使用手順はバッチリ!!



書道教室生徒さん募集中!!
老若男女問いません。
小学生には作文指導も致します。

人権・同和教育講演会《思いを繋ぐ》

1月23日(火)石田伸一先生をお迎えして、人権・同和教育講演会を開催しました。高等学校で14年間、人権・同和教育推進主任をつとめられ、現在は愛媛県立西条高等学校講師/国立新居浜工業高等専門学校講師/愛媛県人権問題研修講師と幅広く活躍されています。

まずは差別や偏見のメカニズムを紐解き、どのように差別が生み出されるのかを検証していきました。ステレオタイプ(多くの人に浸透している先入観、認識、固定観念)が、思い込みとして偏見につながり、最終的に差別が生み出されるのです。

人権の詩人として知られる、江口いとさんの「人の値うち」についての学習では、人の価値を学歴や肩書や出身地などで判断することの過ちを訴えた詩でした。

沖縄県では「慰霊の日」の6月23日に「沖縄全戦没者追悼式」を糸満市の平和記念公園で営まれ、「平和の詩」を朗読されます。2009年には14歳の少女の自作の「平和の詩」が朗読されました。その時の映像を紹介していただきました。題名は「生きる」です。不戦を誓い、未来の平和を築く決意が込められている詩の内容はもとより、追悼式での7分半に及ぶ力強い朗読にも暖かい拍手が送られました。原稿に視線を落とすことなく、参加者一人一人に訴え掛ける姿に涙が止まりませんでした。『戦争は、最大の人権侵害であり、差別である。』今もなお続く争いごと(戦争)に、胸を痛めています。

人権・同和教育は、部落問題をはじめ、あらゆる差別をなくそうとする教育です。すべての人の人権確立を目指す教育でもあります。差別を残す側なのか、差別をなくす側なのか、私たちの生き方・在り方に関わる教育だと話されました。

最後に半崎美子さんの「サクラ〜卒業できなかった君へ〜」の歌声と、美しい桜並木の映像が今も残っています。



石田伸一先生



「令和6年能登半島地震災害義援金」募金箱を設置しています

設置場所	設置期間および時間
西条市役所 本庁 1階 西部支所 1階 丹原サービスセンター 1階 小松サービスセンター 1階	令和6年12月20日(金)まで (土・日・祝日を除く) 午前8:30~午後5:00まで
中央公民館 市内各地区公民館 市内各図書館	令和6年12月20日(金)まで (土・日・祝日を除く) 各施設の開館時間

※ 物資につきましては、取扱い出来ません。

注:河北会館では、各種行事等で撮影した写真を河北会館だよりやホームページに掲載させていただく場合があります。ご理解の上ご了承ください。なお掲載等を望まない場合は、事前に職員にお声がけください。

注:発熱など体調の悪い場合は、入館をご遠慮ください。原則、マスクの着用については各自の判断とします。アルコール消毒は継続して設置しております。

注:警報発表時には、教室・講座・イベントなどは中止とさせていただきます 災害時、河北会館は避難所となっています。